

LEE' S Letter リーズレター P.A.2nd

No.12 (通No.91)

2017/2/4 立春

起つ、就職大氷河期世代

20年ほど前の「就職大氷河期世代」。いまアラフォーの彼らに、最近気づくある傾向。結婚した男女のパートナーシップ。人性のパートナーがビジネスのパートナーともなっている。

妻の創作活動を広報サイドで支援する夫。妻の起した新規事業に参加する夫。ビジネスコンペでプレゼンする妻の予定演習に徹底的に付き合う夫。夫の勧めで起業相談に訪れた妻。「夫が見つけてきてくれて」とセミナーに参加した妻。

ビジネスの内容もやり方も、これまでであるものとはちょっと違って、自分たちの大事だと思うことをビジネスにし、世に発信して、協働する。いずれ子どもたちも参加して、「新ファミリービジネス」の潮流なるか。

『女性力』応援拠点

1月26日クレオ大阪中央館4階に開設された大阪市の施設。「地域イノベーション」という視点で、飛躍の足がかりを地元からつけよう、つけ始めている女性たちを後押し。火曜から土曜、限られた時間ながら、スタッフが常駐し、オープンな雰囲気できれいに相談もOK。3月末までの毎週水曜日は楕円の大きなテーブル隅に座っています。

LEE' S リーズ
http://www.leslee.com
〒530-0012
大阪市北区芝田2丁目8-15
北梅田ビル35号
リー・ヤマネ・清実

2017年、いま響く『いい人になりましょう』

2017年立春、新年が動きだしてひと月少々。年頭からの国際ニュースに、〈いつか来た道〉の可能性も、無きにしも非ずの感。

『類は友を呼ぶ』とは先人の観察眼、実感、よくもわるくも人間社会の自然現象。その輪と動きが内々でおさまっているなら何ら問題はありませんが、他に強要、強権をふるうはアンフェア。

自分を律し抑制を利かせて日常生活を送るところに、互いに安心して暮らせる社会がある。それなのに、強弁、詭弁、詰問を先制して自分の優位を勝ち取る振る舞いが横行するとどうなるのか。

これまたよくもわるくも人間は学習し、楽な方に慣れないやすい生きもの。人のフリみて自分もよかろうと、保身と強欲に走れば、社会は安定を失い、遅かれ早かれ、暮らしの足元が揺らぐ。



ずっと大切にしている恩師の言葉があります。

「結局のところ、本当に世の中をつくっているのは、いい人たち。そうでなければ社会は守っていない。だからいい人になりましょう」。

〈いい人〉をわたしなりに定義して、「常識と良識がある」人。そのころは、「われ先に”を慎む”」、「人のためになろうとする」、「多様性を受容する」。

これは『仕事の原点』としてホームページに掲げています。

『本を読んでいないからだと思います』

年末に仕事で出会った中堅教師の方の一言。ニュースで知る教師の未熟さ、教育現場はどうなっているのかと感じて久しい昨今。その当の先生から、「若手の教師の指導力が落ちている」。そこでNPOを立ち上げて教師の力を相対的に上げるような活動をされている。

やはり実際に落ちているんだ…と確認できたところで、「指導力というのは、何を指しているんでしょうか」。「やはり、根本はコミュニケーション能力になりますかね」。

ビジネスしかり、結局のところ何事も決め手はそこ。大いに納得して話題は事業展開などに移ったのですが、帰り際、「ところで、指導力が落ちているのは、どうしてでしょう」と尋ねたら、すかさず返ってきた答が、冒頭。一緒にいた教師の卵の学生に、「読みます？」を予先をむけると、ばつ悪そうに小声で、「読まないですね…」。

本業以外の本を読むことが読書。本業に独創性をもたらすのは本業以外の知や技能。読書は糧。